

令和7年度				審 査			
将軍スギ説明看板設置工事				設 計 書			
委 託 番 号				施 工 地			
				新潟県東蒲原郡阿賀町 岩谷 地内			
		実 施 ・ 元		変 更			
設 計 額		円		円			
契 約 額		円		円			
(内消費税額)		(円)		(円)			
工 事 ・ 履 行 日 数		工事日数 日間 又は 完成期限 7 年 6 月 30 日		日間(付与日数 日間) 完成期限 年 月 日			
実 施 (元) 設計概要		文化財説明看板修繕(1基) 1式 ・既存屋根・看板部再利用 ・新規丸柱・桁φ210×3000(7本)		変 更 設計概要			

* * 本工事費 * * 内訳表

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
看板修繕 工事							第1号 内訳明細書
		1		式			
直接工事費 計							
諸経費	30%以内						
工事価格							
消費税相当額							
合計							

** 第1号 内訳明細書 **

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
看板修繕工事											
既存看板解体 人力	使用部材残し(屋根部・看板部) 大工手間										
					人						
小運搬用 切断	チェーンソー										
			1		式						
カニクレーン	2.8t										
			2		日						
バックホウ	0.1m3										
			2		日						
重機回送費											
			4		回						
掘削	1000*1000*H1000程度										
			1		式						
柱脚コンクリー ト打設	人力打設・小運搬 人 2m3										
			1		式						
埋戻し											
			1		式						

＊ ＊ 第1号 内訳明細書 ＊ ＊

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
新規丸柱・桁	φ 210:3000 防腐処理						
屋根部 加工取付	既存			7 本			
看板取付	額縁			1 式			
大工手間	加工・組立・設置			1 式			
廃材運搬 処理費				人			
				1 式			
計							

将軍スギ説明看板設置工事
仕様書

1 工 事 名 将軍スギ説明看板設置工事

2 工事期間 契約締結日から令和7年6月30日まで

3 目 的

貴重な文化財を保護・継承し、その価値を後世に伝え、国民が文化財に親しみ、その価値を理解するきっかけとするため、案内説明看板を長期的に設置又は更新していくことを目的としている。

4 履行（設置）場所

東蒲原郡阿賀町岩谷 2242 地内

5 業務の内容

(1) 看板の補修・設置

ア 看板補修数 1 基

イ 看板の寸法・材質等 掘削 1000×1000×H1000 程度
柱脚コンクリート打設 2 m³
新規丸柱・桁 φ210×3000 防腐処理 7 本
既存屋根部加工 1 式
既存看板取付 1 式

6 業務を進めるうえでの留意事項

- (1) 受注者は、契約締結後ただちに履行完了までのスケジュール表を作成し、発注者に提出すること。
- (2) 契約期間中は、安全管理に十分注意すること。特に、設置場所への据付を行うときは、説明板の転倒による事故を防止するための措置を講ずること。
- (3) 設置場所への据付に係る作業（現地の視察、測量等を含む。）を行うときは、あらかじめ発注者と日時の調整を行った上で行うこと。
- (4) 業務の進捗状況については、発注者に適宜報告すること。
- (5) 作業内容について疑義が生じた場合は、発注者及び受注者にて速やかに協議の上対応すること。
- (6) 文化財見学来場者等の安全対策を十分行うこと。
- (7) 関連施設や樹木を損傷しないよう、十分注意すること。損傷した場合は、直ちに報告を行うとともに、原型復旧すること。

7 法令等の遵守

本業務の実施にあたっては、本仕様書のほか、関係法令、規則等を遵守すること。

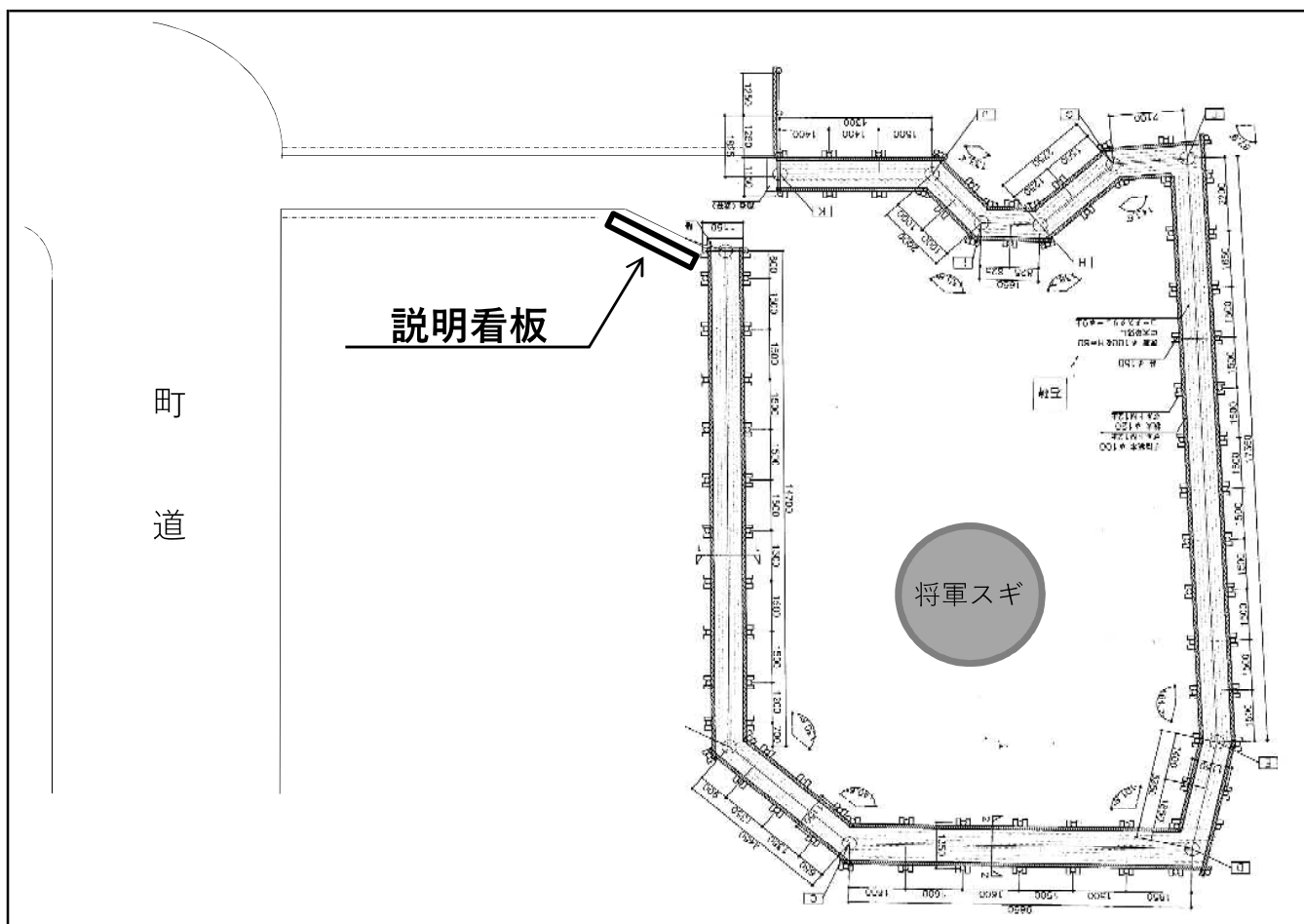
8 権利関係

本業務の履行に係る成果物の著作権はすべて発注者に帰属することとする。

9 その他

本仕様書の内容について疑義が生じた場合は、その都度、発注者と協議のうえ、その指示に従い業務を進めるとともに、発注者は業務期間中いつでもその業務の進捗状況の報告を求めることができるものとする

国指定天然記念物将軍スギ説明看板設置工事



倒壊前



倒壊後



倒壊後（支柱根腐れ状況）

天然記念物 將軍杉

所在 東蒲原郡阿賀町岩谷二〇一三

指定 昭和二年四月八日 文部省

管理団体 阿賀町

我が国における日本一のスギである。

推定樹齡約千四〇〇年、幹のまわりは十九メートル、樹高約四十メートルに達する。根元の近くから六本の太支幹にわかれていくが中央の一本は昭和三十六年秋の第二室戸台風のため折損した。樹下の「余五將軍維茂墓碑」は、この地に晩年を送ったとされる陸奥鎮守府將軍平維茂の業績をしのび寛文八年会津藩主保科正之が建てたもので將軍杉の名もこれに起因する。

その昔、村人がこの杉を切り、船を造ろうと計画したところ、一夜にして地面に沈んでしまったという伝説が残されている。